

1. 研修講師の氏名、専門分野、保有資格、講師経験の有無

氏名：澤田 雅之

専門分野：情報通信技術、顔画像識別技術、プロジェクトマネジメント、発注者エンジニアリング

保有資格：技術士(電気電子部門)

講師経験：官公庁や大手企業等において、「技術プロジェクトのマネジメント」や「発注者のエンジニアリング」等に関する多数の講師経験を有する。

2. 研修テーマ

発注者のエンジニアリング ～ 零戦に学ぶ理想的な性能仕様書の作り方と官公庁発注業務への応用

3. 研修の概要

官公庁が工事請負や製造請負を発注する際に、費用対効果に優れた調達を実現するには、一般競争入札時に価格と技術の両面で競争原理を確実に働かせる必要があります。これには、発注者が調達対象に求める機能・性能要件と、受注者側が有する設計・施工(製造)能力をベストマッチングできる性能仕様書が欠かせません。発注者のエンジニアリングとは、発注者ならではの技術力を発揮して、理想的な性能仕様書を作成することです。

「零戦」は、官公庁(旧日本海軍)による発注者のエンジニアリングが大成功した事例です。しかし、旧日本海軍は「零戦」の後継機の開発に失敗したため、「零戦」は悲劇的な結末を迎えました。ここから、発注者のエンジニアリングの上手・下手が国運を左右する結果を招いたことをご理解頂けます。そこで、「零戦」の事例分析に基づき、理想的な性能仕様書の作り方を具体的に解説致します。次に、官公庁における工事請負や製造請負の発注業務への応用方法とその効果、発注に携わる職員に求められる技術力について、具体的に解説致します。

4. 研修対象とする職員

工事請負や製造請負の発注業務に従事する技術系職員及び事務系職員

工事請負や製造請負の発注に関わる技術系幹部職員及び事務系幹部職員

5. 研修受講により期待される効果

官公庁において、費用対効果に優れた工事請負や製造請負を実現するには、的確な発注者のエンジニアリングが欠かせないこと、これには受注者側の技術力とは次元が異なる発注者ならではの技術力が欠かせないこと、の二点が具体的に理解できます。また、価格と技術の両面で競争原理が働く理想的な性能仕様書の作成方法を、具体的に修得できます。